



アニメーション

「お蚕さまから生まれた街」で地域学習

今年度第三地区まちづくり協議会が松本工業高校の生徒に制作していただいた、アニメーション「お蚕さまから生まれた街」が1月から松本市公式YouTubeで配信されています。

「お蚕さまから生まれた街」のDVDを寄贈しました。市内の小中学校で地域学習に役立てていただきたいと思います。

公民館研究集会で話題提供

2月20日(日)に開催された第37回松本市公民館研究集会では、第4分科会「多様な地域学習が未来をつくる。自分の地域のことを知っていますか？」でアニメ制作した松本工業高校の生徒5名が第三地区まちづくり協議会の降旗都子副会長と共に話題提供をしました。

高校生からは、「このアニメーションを作ってから、ICTカ



1月31日には松本市の伊佐



松工生の発表の様子



アニメーション上映の様子

ンファレンスの全国大会で発表したり、県内の校長先生方が集まる会で発表したことなど、様々な発表の場を経験し、多くの人に褒めてもらいとても良い経験になった。地域に関わりこのアニメを作ることができたことで、自分も成長できた。このアニメで地域に興味を持ってくれる人が増えたら良いと思う。」と話しました。

その後、島内公民館の上條光司館長の「地域の歴史的文化遺産を活用したコミュニティづくり」の話題提供を聞いた後の意見交換会では、参加者からも「高校生が地域と関わってこれだけのものをつくれるのは素晴らしい」と褒めていただきました。高校生から「もつと高校生も地域と関わる機会があった方が良くと思う」という意見が出ると、参加者からは「中学生までは地域に関わってもらう機会があるが高校生は難しい、どうしたら良いか？」などの課題も出て大変実りのある会になりました。

清水を活性化するためには？ 清水中学校3年生

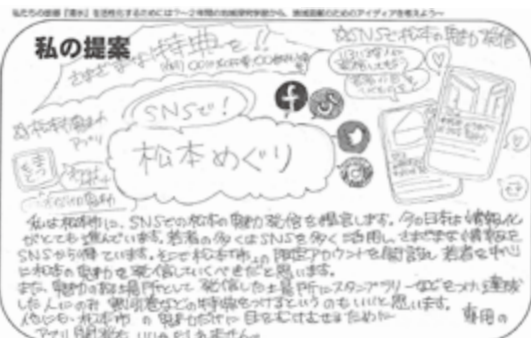
提案書を作成！

清水中学校3年生は今年度、『清水を活性化するためには？』をテーマに、地域に貢献するには何ができるかアイデアを考えてきました。修学旅行の時には小布施町を訪れ、市外のまちづくりについて学びました。その知識と3年間の地域探求学習で得た経験をもとにアイデアをまとめ、『提案書』を作成しました。

2月4日(金)には、地域探求学習に関わったまちづくり協議会にも提案書を渡しました。



提案書を受け取る様子



実際に中学生が作成した提案書

中学生になったら

4 月から中学生になる 3 名に、これからの抱負をお聞きしました。

松川 小桃 (四ツ谷東町会)

私が中学生になって頑張りたいことは主に勉強です。中学生になったら勉強が難しくなるからです。その中でも英語を頑張って勉強したいです。小学校とは違って、筆記とリスニングの難易度が上がるので、しっかりと先生の話の聞きたいです。テストの前日には、テスト勉強をして、百点が取れるようにしたいと思います。

また、他の学校の子と一緒にになるので、仲良くできればいいなと思います。

渡部 心晴 (倉野北町会)

私は中学一年生になって頑張りたい事が二つあります。一つ目は、友達をたくさん作ることです。私は人と話すことが少し苦手です。でも中学生になったら、頑張って同じクラスの人と話して友達になりたいです。

二つ目は勉強です。中学で

は算数が数学になって、歴史や英語も難しくなると思うので、良い成績を残したいです。中学になったら、この二つを頑張ります！

胡桃澤 華 (四ツ谷東町会)

私が、中学校に行って頑張りたいことは二つあります。一つ目は、勉強です。中学校では学習が難しくなると思うので、しっかりと家での学習を忘れずに行いたいです。特に、学習の予習と復習に力を入れていきたいです。

二つ目は、部活動です。私は、小学校でやっていた合唱を続けたいと思っています。私は、元々歌うことが好きだったので、「合唱部」というのは自分にとってとても合った部活でした。そして、合唱部に入っていて他によかったことは他学年との交流が増えるという事です。だから私は、合唱を続けていきたいと思いました。

この二つを中学校で頑張りたいです。



松本市広報・公民館報などのデジタル化について

現在松本市では、広報まつもと・公民館報・市議会だよりなどの配布物をデジタル化する話が出ています。町会長や公民館長の役員レベルでは議論がされていますが、多くの市民にはあまり知られていません。先日公民館報の編集委員会では色々な意見が出ましたが、実際に地区の皆さんはどのようにお考えなのかわからない為、アンケートを取ることにしました。

紙面の QR コードからお答えいただくか、紙ベースでも配布していますので是非ご意見をお寄せください。

アンケートの回答はこちら



皆さんのご意見お待ちしています



湧き水

松本市文書館の小松芳郎先生が亡くなられた。1月8日のアニメーションの制作発表会ではいつも通りの笑顔で歴史のお話をしてくださったばかりだったので、第一報を聞いた際には信じられず耳を疑った。◆私と先生の出会いは、平成17年頃だったか、自宅にある古文書を見ていたのが最初だ。その後、平成23年に公民館で開催した「まちづくり講座」で第三地区の歴史の講演を初めて聞いた。この歴史を後世に伝えるためにはいけないと思い「まちづくりを考える会」を立ち上げ活動を始めた。◆人生には転換期となる出会いがいくつかあるが、私にとって小松先生はまさにその一人だった。子どもたちにもわかりやすい解説が欲しいと思い、私がつたない文章で書いたものを小松先生に細かく添削していただいたのが歴史冊子・歴史マップの解説部分の原本だ。アニメーション「お蚕さまから生まれた街」は先生の遺作となってしまった。「この歴史を松本の人間が知らないのはおかしいんだよ」とニコッと笑いながら話す笑顔が今でも忘れられない。(降旗 都子)